

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 4 日 (2021.2.4)

【公開番号】特開 2019-72034 (P2019-72034A)

【公開日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【年通号数】公開・登録公報 2019-018

【出願番号】特願 2017-199179 (P2017-199179)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 16 日 (2020.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、

前記所定演出が所定回数実行されたことにもとづいて、前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

前記所定回数を報知する所定回数報知手段と、

前記有利状態に制御される場合と前記有利状態に制御されない場合とで共通に実行される共通演出を実行可能な共通演出実行手段と、

前記有利状態に制御される場合に、前記共通演出が実行された後に特定音を出力可能な特定音出力手段と、

前記共通演出の実行中に遊技者の動作を促進するための動作促進音を出力可能な動作促進音出力手段と、を備え、

前記特定演出実行手段は、前記所定演出が前記所定回数として第 1 所定回数実行されたことにもとづいて前記特定演出を実行した後に、前記所定演出が前記所定回数として前記第 1 所定回数とは異なる第 2 所定回数実行されたことにもとづいて前記特定演出を実行可能であり、

前記共通演出実行手段は、

第 1 共通演出と第 2 共通演出とを含む複数種類の前記共通演出を実行可能であり、

前記共通演出の種類に応じて異なる演出期間にわたって前記共通演出を実行し、

前記特定音出力手段は、

遊技者の動作を検出したことにもとづいて、前記特定音を出力可能であるとともに、

前記第 1 共通演出が実行された後と前記第 2 共通演出が実行された後とで異なる前記特定音を出力可能であり、

前記共通演出の種類に応じて異なる出力期間にわたって前記特定音を出力し、

前記動作促進音出力手段は、前記第 1 共通演出の実行中と前記第 2 共通演出の実行中とで共通の動作促進音を出力可能であり、

前記共通演出の種類に関係なく、前記共通演出の演出期間と前記特定音の出力期間との合計期間は同じである、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

(手段1) 本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、前記所定演出が所定回数実行されたことにもとづいて、前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、前記所定回数を報知する所定回数報知手段と、前記有利状態に制御される場合と前記有利状態に制御されない場合とで共通に実行される共通演出を実行可能な共通演出実行手段と、前記有利状態に制御される場合に、前記共通演出が実行された後に特定音を出力可能な特定音出力手段と、前記共通演出の実行中に遊技者の動作を促進するための動作促進音を出力可能な動作促進音出力手段と、を備え、前記特定演出実行手段は、前記所定演出が前記所定回数として第1所定回数実行されたことにもとづいて前記特定演出を実行した後に、前記所定演出が前記所定回数として前記第1所定回数とは異なる第2所定回数実行されたことにもとづいて前記特定演出を実行可能であり、前記共通演出実行手段は、第1共通演出と第2共通演出とを含む複数種類の前記共通演出を実行可能であり、前記共通演出の種類に応じて異なる演出期間にわたって前記共通演出を実行し、前記特定音出力手段は、遊技者の動作を検出したことにもとづいて、前記特定音を出力可能であるとともに、前記第1共通演出が実行された後と前記第2共通演出が実行された後とで異なる前記特定音を出力可能であり、前記共通演出の種類に応じて異なる出力期間にわたって前記特定音を出力し、前記動作促進音出力手段は、前記第1共通演出の実行中と前記第2共通演出の実行中とで共通の動作促進音を出力可能であり、前記共通演出の種類に関係なく、前記共通演出の演出期間と前記特定音の出力期間との合計期間は同じである、ことを特徴とする。

(手段1) 他の遊技機は、遊技を行うことが可能であり、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当り遊技状態)に制御可能な遊技機であって、所定演出(例えば、貯留演出)を実行可能な所定演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120におけるステップ87IWS107を実行する部分)と、所定演出が所定回数(例えば、1回～3回)実行されたことにもとづいて、有利状態に制御されることを示唆する特定演出(例えば、リーチ前予告演出A～C)を実行可能な特定演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120におけるステップ87IWS127, 87IWS133, 87IWS139を実行する部分)とを備え、特定演出実行手段は、所定演出が所定回数として第1所定回数(例えば、3回)実行されたことにもとづいて特定演出(例えば、リーチ前予告演出A)を実行した後に、所定演出が所定回数として第1所定回数とは異なる第2所定回数(例えば、2回)実行されたことにもとづいて特定演出(例えば、リーチ前予告演出B)を実行可能である(例えば、演出制御用CPU120は、ステップ87IWS007で貯留数カウンタに3をセットしてステップS87IWS127を実行してリーチ前予告演出Aを実行した後、ステップS87IWS113では貯留数カウンタに1つ少ない2をセットしたことにもとづいてステップ87IWS133を実行してリーチ前予告演出Bを実行する)ことを特徴とする。そのような構成によれば、所定演出および特定演出を実行する場合に、演出効果を高めることができる。